

家の庭には、初め、さつきが10本、父のすきなつつじと母のすきなつばきが5本ずつありました。今から12年前、きょ年なくなったおじいさんがしんちくのおいわいに「緑をたいせつにしよう」とねがってうえてくれました。これらは、ちょうど兄と同じ年です。それから、私がうまれたおいわいに夏みかんの木をうえてくれました。今では、毎年70ものおいしい実をつけてくれます。だから、この夏みかんの木がとくにす

会長賞

きです。そして、どの木もみんな、家の人には思い出の深いものです。私は「家の木も二中にあるさくらの木のように太くなってくれるといいな。」と考えています。

そこで、家の中でやくわりをきめました。父と兄が木のせわをするようになり、いっしょうけんめいそだてています。えだをきったり、虫たいじしたり、木をうえかえたりしています。草とりは、兄がなれない手つきでやっています。かきねからひりょうのきいた土がおちてくるので、ざっ草がよくの

びます。ちょっと草とりをなまけると、両手でひっぱってもなかなかぬけないので、とてもくろうをしています。父は、うえ木などを買ってき



てはせっています。父は、うえ木などを買ってきせとそだす。「まにまけな

＜緑化作文コンクール入賞作品＞

緑でいっぱいの中の庭

今泉小4年 鈴木敬子

私と母は、花だんを受けもっています。春にはチューリップ、三色すみれ、今ごろはバラ、あやめ、夏はひまわり、秋はきく、冬ははほとんすいせんというように、1年中さいています。けれど、青い小さな虫がついたり、毛虫が緑の葉にあなをあけたりするので、花がかわいそうになります。そんなじきになると、母がうえ木やさんからくすりをもら

す。そして、花がパッとさいたとき今までの苦しかったことをみんなわすれてしまって、みんなでいっしょによろこびあいます。それから、せっかくくろうをしてさかせた花ですので、花をきってへやにかざるのがかわいそうになります。だから、そのまま花だんにおいてながめています。そして、か

れてたねやきゅうこんができるまで、花の一生をしっかりとかんさつするようにしています。

家の庭は、緑がとても多くなって、今では木も30本ぐらいにふえました。どの木もすくすくとのびています。青々とした葉がきらきら光っていて、大きくいきをするときもちがよくなります。また今年も花をいっぱいさかせて、きょ年よりもたねやきゅうこんをたくさんとるようにします。そしてうえる場所を広くしたり、ほかの花をうえたりして、いいにおいの中でくらししていきたいと思っています。緑をもっとふやすためにこれからも木や花をどんどんうえていきます。

参議院議員通常選挙の投票日は 7月10日です

投票

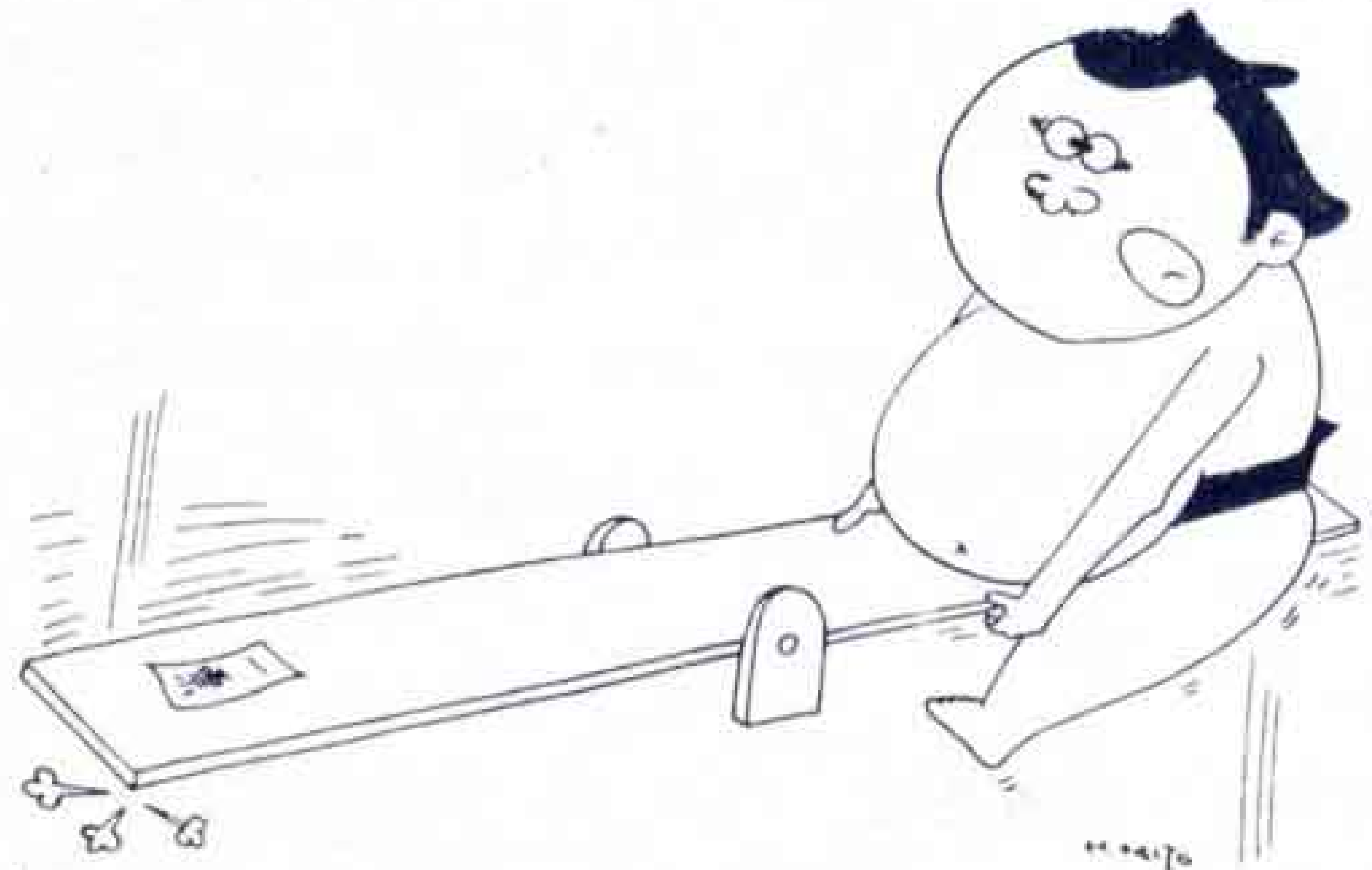
- ・最初に地方区、次に全国区の順序で投票をします。
- ・投票用紙の色は地方区がクリーム地に黒インク。全国区が白地に赤インクで印刷したものです。間違えないように注意してください。

参議院議員（地方区、全国区）の選挙が7月10日に行われます。大切な一票です。必ず投票してください

投票所入場券

- ・入場券は個人宛に郵送しました。郵送したのは次の方です。
- 昭和52年3月15日までに住民登録をしてあり、昭和32年7月11日までに生まれた人。

・入場券を紛失してしまった方は、投票所で再発行します。



一票の重さに
関取もびっくり!!